



9月の園だより

令和元年9月2日

澄みわたる秋空にとんぼが飛びかう季節となりました。
 昼間のセミの大合唱もいつの間にか鈴虫の声にバトンタッチ。そんな秋の気配を感じる中で心も体もぐんと成長している子どもたちです。
 今後も子どもたちの「やってみたい!」という意欲を大切に過ごしていきます。

〈体育まつりの日程〉

日時：9月28日(土) 9:00 開始
 昼食をはさんで13:00 終了予定です。
 場所：潮見小学校グラウンド
 (雨天時は体育館)

詳細は後日、お手紙を配布致します。

SAKURA COLUMN

♪成長するこども園♪

当園は戦後まもなく、福石観音さんの境内で初代園長が保育を始めました。70年が過ぎ、最近感じるのは、地域や保護者の方との関わりが希薄になってきたことです。今年は念願の福石観音祭りに参加することが叶いました。夕涼み会では、おやじの会のお父様にお手伝いいただき、地域の方も来ていただきました。9月の体育まつりでは、ここ数年の気象の変動や園児の体調を考慮して、午前中みの縮小プログラムで実施してきましたが、保護者の方から「是非、体育まつりでお弁当を食べたい」とのお声が多くあり、2部構成にして、ランチタイムをとることにしました。保護者の方がもっと気軽に参画していただける園をめざしています。何事もやってみないとわかりません。うまくいかなかったら修正しつつ、絶えず成長するこども園でありたいと思います。

〈今後の行事予定〉

12月7日(土) 発表会(お遊戯会)

〈お知らせ〉

10月の園内研修は、19日(土)の予定です。

〈ご意見・ご要望〉

8月は特にありませんでした。

〈避難訓練〉

8月27日(火)に避難訓練を行いました。

【9月の行事予定】

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|-----------------------------------------|-----------|------------------------------------------|-----------|-------------|
| 2 | 3 わくわく広場 英会話(月) | 4 | 5 わくわく広場 | 6 | 7 |
| 9 | 10 わくわく広場 | 11 | 12 わくわく広場 体育教室 (月・雪) 絵画教室(月) | 13 | 14 |
| 16 | 17 わくわく広場 英会話(月) 絵画教室 (すみれ) | 18 誕生会 | 19 わくわく広場 | 20 総練習 | 21 |
| 23 | 24 体育教室 (月・雪) | 25 総練習 | 26 | 27 | 28 体育まつり |
| 30 | | | | | |

～社会生活との関わり～

家族を大切にしようとする気持ちをもつとともに、地域の身近な人と触れ合う中で、人との様々な関わり方に気づき、相手の気持ちを考えて関わり、自分が役に立つ喜びを感じ、地域に親しみを、もつようになる。また、保育所内外の様々な環境に関わる中で、遊びや生活に必要な情報を取り入れ、情報に基づき判断したり、情報を伝え合ったり、活用したりするなど、情報を役立てながら活動するようになるとともに、公共の施設を大切に利用するなどして、社会とのつながりなどを意識するようになる。

幼保連携型認定こども園教育・保育要領より

家庭や地域に暮らす様々な人々との出会いを園の活動として用意します。家族と触れ合い、家族の思いを改めて感じる機会を作ったり地域の人とも触れ合う機会を作ります。その中で子ども達は様々な人々が様々な個性やそれぞれの関わりを持ちながら地域に暮らしている事を感じ取っていきます。また、公園や商店街など、いろいろな場所へ出かけ、自分で体験しながら、公共の場所や施設を大切に使う事も覚えていきます。



こども園に飾る
お花下さい!!

こんにちはー!!
いつもおいしい給食食べてます♪

おやじの会の皆さんが夕涼み
会を盛り上げて下さいました。



地域の方との交流♪



ままごとや変身ごっこなどのごっこ遊びは子ども達が自分の周りの社会を、遊びを通して模倣ができます。自分がやりたい役割を選択し、様々な役割のある友達との関わりの中で、自分が役に立っているという喜びを感じ、時には相手の気持ちも考えながら遊びが発展していきます。



おすそ分け♡

いらっしやいませ～
オムライスでーす!



子ども達が社会を経験するには、社会を再現する遊びの環境が必要です
保育者は子ども一人一人がそれぞれの役割になりきり遊び込めるようなよりよい環境を
日々考え提供しています。



ほけんだより 9月号



令和元年9月1日
みなとこども園

まだまだ残暑が続きますが、幾分過ごしやすい日が増えてきました。元気いっぱい夏を過ごした子どもたち。夏の疲れが出やすくなる時期なので、ゆっくりお風呂に入り、たっぷり睡眠をとるなどして、体調を崩さないように気を付けましょう。



防災週間（8月30日～9月5日）

9月1日は防災の日、9月9日は救急の日です。もしもの時に備え、非常食や水、ラジオ、懐中電灯などを用意しておきましょう。また、お子さまにも火事や地震が起こったらどのように行動すべきか、煙を吸わずに逃げる方法や地震の時は机の下に隠れるなど、日頃から繰り返し話し、緊急時に備えるようにしましょう。

子どもの低い目線に合わせて家の中を点検してみましょう。
床に小さなものが落ちていることはありませんか？

—チェック—

- 薬や洗剤、たばこなどの出しっ放しや子どもの手の届く所に置いていませんか？
- ポットや炊飯器は子どもの手の届く所に置いていませんか？
- ベランダに踏み台になるものを置いていませんか？
- 刃物は子どもの手の届かない所にしまっていますか？
- 食べ物を食べさせながら遊ばないようにしていますか？
- 浴室は子どもが1人で勝手に入れないようにしていますか？
- コンセントガードなどでいたずらが出来ないようにしていますか？



救急の日 9月9日は救急の日です。

ご家庭に救急箱はありますか？ お子さまがけがをしたり、具合が悪くなった時にすぐに使えるように準備をしておきましょう。

- 中身を点検しておきましょう
(薬、ガーゼ、テープ、爪切り、ピンセット、ばんそうこう、体温計、脱脂綿、綿棒、包帯、はさみ、は入れておくくと便利です)。
- 薬の使用期限は1年に1度は確認しましょう。
- 消耗品は使ったら買い足しておきましょう。

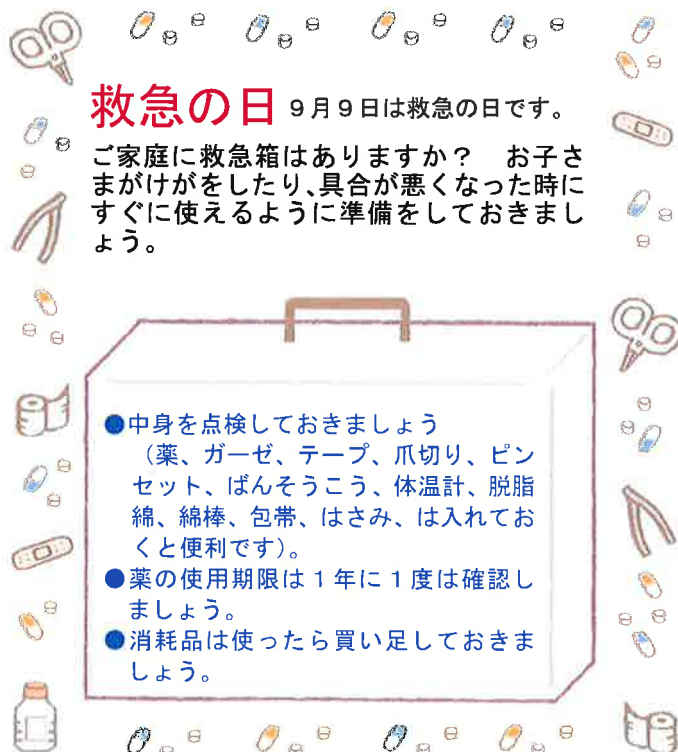
◎「#8000」 ご存知ですか？

小さいお子さんをお持ちの保護者の方が、休日・夜間の急な子どもの病気にどう対処したらよいか病院の診察を受けた方がいいかなど判断に迷った時に、小児科医師・看護師への電話による相談ができるものです。お住いの都道府県の相談窓口へ自動転送され、お子さんの症状に応じた適切な対処の仕方や受診する病院等のアドバイスを受けられます。

小児救急でんわ相談

急な発熱・嘔吐・下痢・けいれんなど 判断に困ったら

#8000



ほけんニュース

すり傷・切り傷

すり傷の対処法

- ・傷口に入った砂などの異物を、水で洗い流しましょう
- ・ガーゼに傷薬を厚めにのばして貼り付け、毎日交換しましょう
(ガーゼがはがれにくい場合は、お湯や水で濡らすと、比較的簡単にはがせます。お風呂に入った時にはがすとよいでしょう)
- ・はがした後の傷は、痛くない程度に洗いましょう

切り傷の対処法

- ・水道水で傷口を洗いましょう
- ・ばんそうこうなどで傷口を固定します
(傷口が開かないように固定をすると、痛くなく、早く治すことができます)
- ・傷が深い、出血が止まらないなどの時は、すぐに受診しましょう

虫刺され・植物かぶれ

- 虫刺されも、植物かぶれも、水で洗い流し、絶対にかかないことが大切です。かいてしまうと傷から菌が入り悪化することや、とびひになることもあります。かき続けることで治りも悪くなってしまいますので、十分に気を付けましょう。

誤飲・誤えん・窒息

子どもの死亡原因で各年齢の上位を占めているのは「不慮の事故」です。その中で「窒息」は0歳が89・9%、1～4歳では35・1%、5～9歳では17・6%を占めています。

気をつけたいポイント

| | |
|------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>【事例】タバコの誤飲 胸ポケットに開封済みのタバコを入れたまま居眠りして、その間に子どもがそこからタバコを取って少量かじってしまった(0歳)</p> | <p>《誤飲》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆タバコ・ボタン電池・医薬品・洗剤などは子どもの手の届かない所に置きます。 ◆医薬品などは子どもの見ている所で飲まないようにします。 ◆乾燥剤なども間違えて食べる事があるので、注意します。 |
| <p>【事例】あめの誤えん アメを食べたまま走り出して飲み込んでしまい、息ができなくなりました。背中を叩いてアメを出した(4歳)</p> | <p>《誤えん》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ミニトマトやブドウなど、丸くてツルツルした食品は、小さく切って食べさせるようにします。 ◆アメやグミなどを食べる時は、落ち着いた環境で座って食べます。 |
| <p>【事例】フードによる窒息 滑り台を滑ろうとしたら、後ろの子にパーカーのフードを引っ張られてしまい、首が絞まりそうになった(5歳)</p> | <p>《窒息》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆フードやひもなどがついていない洋服にします。 ◆シールやポリ袋などがのどに詰まったり、袋をかぶったりして窒息する事があるので、子どもの手の届かない所に置きます。 |